

令和6年度 第4回地域医療支援病院に関する委員会

開催日時	令和7年1月31日(金) 13時30分から14時20分まで	
開催場所	大垣市民病院2病棟1階 会議室	
議題	定例報告及び紹介率向上への取組みについて	
出席委員 (敬称略)	委員長	大垣市医師会会长 沼口 諭
	副委員長	大垣歯科医師会会长 馬淵 直樹
	委員	大垣市医師会副会長 竹中 清之
	委員	大垣市医師会理事 森 俊治
	委員	揖斐郡医師会会长 野田 宜輝
	委員	大垣歯科医師会副会長 北村 浩之
	委員	大垣市薬剤師会会长 松本 正平
	委員	大垣市教育委員会教育長 細江 敦
	委員	大垣市女性連合会会长 竹中 昌子
	委員	岐阜協立大学看護学部教授 神谷 真有美
公開区分	公開	
傍聴人	なし	
概要	<p>1. 報告事項</p> <p>(1)定例報告事項</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、①紹介率・逆紹介率、②地域連携を介した診察・検査件数、③開放型病床利用状況、④救急統計、⑤地域の医療従事者に対する研修・講演会の開催状況、⑥地域連携クリニック登録状況、⑦OMNet 利用状況、⑧地域の医療機関との連携相談実績について報告した。</p> <p>①紹介率……6年4月～6年12月:71.6%</p> <p>逆紹介率…6年4月～6年12月:141.6%</p> <p>②地域連携予約診案件数…6年4月～6年12月計:8,849件</p> <p>地域連携予約検査件数…6年4月～6年12月計:623件</p> <p>③開放型病床登録医数…6年12月末:162人(医科133人、歯科29人)</p> <p>開放型病床利用率…6年4月～6年12月:7.9%</p> <p>緊急緩和ケア病床利用率…6年4月～6年12月:0.0%</p> <p>④救急受診患者数…6年4月～6年12月計:26,795人(月平均2,977人)</p> <p>救急車利用件数…6年4月～6年12月計:7,868件(月平均874件)</p> <p>救急入院患者数…6年4月～6年12月計:2,713件(月平均301件)</p> <p>⑤地域医療従事者に対する研修…6年4月～6年12月開催数:19回、院外受講者66人</p> <p>*病診連携カンファレンス、西濃がん早期診断研修会等、診療報酬に関する委員会等</p> <p>市民対象講演会等…6年4月～6年12月開催数:7回、院外受講者237人</p>	

	<p>⑥地域連携クリニカルパス登録状況…6年4月～6年12月登録総数546件 6年12月末時点でのパス開始からの登録総数:13,339件</p> <p>⑦OMNet利用状況…6年12月末時点の利用登録医療機関:133機関 診療情報閲覧に同意した患者総数45,510人</p> <p>⑧地域の医療機関との連携相談実績…6年4月～6年12月計:9,475件 医療相談実績…6年4月～6年12月計:1,435件</p> <p>2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員) 予約のとりにくいくらいの科はどこですか。泌尿器科とかですか。</p> <p>(事務局) 泌尿器科です。泌尿器科が医師が少ないと申込が多いので、かなり待ちになっている状況です。 泌尿器科には枠を広げてほしいという事はお願いしていますが、現場的に難しいところがあります。ですので、紹介状を持って直接受診していただくようにお願いしているというのが現状です。</p> <p>(委員) 紹介率が前年度比で1.5%上がって、逆紹介率が6.1%下がっている原因はなんですか。</p> <p>(事務局) 逆紹介率は、大垣市民病院からかかりつけの先生に情報提供した数が分子になりますので、逆紹介率が減ったという事は当院からの情報提供の数が少し減ったという事になるかと思います。 当院からの情報提供は、紹介する時のみならず、地域連携パス等で情報提供する際にもこの情報提供は含まれてきますので、そういった割合で当院の逆紹介が非常に高いという事になっていると思いますが、その辺りの変動があったのだろうと理解しています。</p> <p>(2)紹介率向上への取り組みについて</p> <p>1)よろず相談・地域連携課から、紹介率向上への取り組み状況について次のとおり報告した。</p> <p>①令和6年度4月から12月までの患者さんからの電話予約実績は563件。地域別では大垣市の先生が約9割を占めている。診療科別では歯科口腔外科が約4割を占めており小児科、耳鼻咽喉科の順となっている。</p> <p>②かかりつけ医紹介センターの相談件数は、令和6年度4月から12月まで52件。診療科別としては、皮膚科が30.8%、糖尿病・腎臓内科 17.3%、循環器内科 15.4%となっている。</p>
--	--

	<p>2) 上記の報告について次のとおり質疑応答等が行われた。</p> <p>(委員)</p> <p>かかりつけ医相談センターの相談件数について、循環器内科が一番、次が神経内科という事で、神経内科の先生が結構大変だと伺っていますが、逆紹介も含めて先生方の負担軽減というのはうまくいっているんでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>症状が落ち着いている患者さんは近隣の診療所の先生に助けてくださいという事を推進したいと思ってはいますが、不安といって戻ってきてしまう場合があります。一度クリニックの先生向けにこういう感じで診ていっていただければという研修会を行おうと考えています。</p> <p>(委員)</p> <p>何が不安で患者さんが大垣市民病院の神経内科に戻ってしまったのかの情報を開業医に教えてもらえばと思います。</p> <p>(委員)</p> <p>紹介センターの相談件数の診療科別に歯科口腔外科は無いんですが、歯科の場合、割と送ったところに戻るのを徹底されているので、出てないという事なんですか。</p> <p>(事務局)</p> <p>外来でクリニックの名簿は歯科口腔外科で全員把握しているので、住所と希望を見て直接行きたいというところに手紙を書きますので、かかりつけ医紹介センターで探してもらう事はほぼないです。</p> <p>(委員)</p> <p>患者さんからの電話予約実績・診療科別で、歯科口腔外科は 39.1%と結構多いです。クリニックから紹介した患者さんがちゃんと電話予約していただいているという事でよろしいでしょうか。</p> <p>(事務局)</p> <p>こちらは、患者さんのご都合で地域連携予約ができるという事で、歯科クリニックさんが利用する割合が高いという事です。</p>
	<h2>2. その他</h2> <p>(委員)</p> <p>下り搬送とかは問題ないですか。特にトラブルとかはありませんか。</p> <p>(事務局)</p> <p>年末年始は受け手の病院が体制が難しいという事でできませんでしたが、年明けから順調にお願いしてやっているところです。</p> <p>数としては9月から32～33件、今年は6件ぐらいです。</p> <p>トラブルとかは無いですが、先に病院の方でお時間を決められてしまうと、こちらの調整が効かないという事があります。</p>

	<p>(委員) 電子処方箋は、岐阜県内でも広域の岐阜総合病院含め、12 の病院が 3 月までに整備する事になって、発行する可能性がありますが、その研究とか予定とか決めていればどんな状況か教えてください。</p> <p>(事務局) 急にという訳にはいかないと思いますが、世の中の情勢を考えたら検討していく必要があると思います。</p> <p>(委員) 東海北陸厚生局の個別指導で、悪性疾患特異物質治療管理料は採血された日に算定したらダメだと言われました。結果が出た時に結果に基づいて説明した時に取らないといけないとと言われました。病院の先生にも知っておいて頂けたらなと思います。</p> <p>(事務局) 今日は採血だけ行って、結果はいついつ聞こうかっていう形だったら大丈夫だと思いますが、なかなか難しい問題だと思います。</p> <p>(委員) 東海北陸厚生局の個別指導で在宅酸素療法の適用は、がんはダメだと言われました。COPD のような慢性の肺疾患が基礎になると酸素濃縮器は使えない。酸素ボンベを何本も置いて、大型の酸素ボンベがあるだろうと言ってきました。 それと導入時の酸素飽和度だけではなくて、PO2 と PCO2 を書くように言つてきているので、紹介する時には伝えてほしいという事を呼吸器内科の先生にも徹底していただけたらなと思います。</p> <p>(事務局) 呼吸器内科の先生に伝えさせていただきます。</p> <p>(委員) この前、私のところでリーダー研修で市民病院の先生にお話しいただいたんですが、すごく好評で、また聞きたいなという感想を皆さん持っていますので、いい意味で私はよかったですと思っています。</p> <p>(事務局) ありがとうございます。</p> <p>(委員) 在宅での看取りについて地域連携で何かされている事はあるのでしょうか。</p> <p>(事務局) 在宅看取りというと診療所の先生と一緒にになって、病院がイニシアチブというよりは、医師会とかその全体でという感じです。今度、在宅市民公開講座というものを 3 月にやります。これは患者さんや周りのおうちの方の姿勢とかどういう心構えでという話を進めていこうということがあります。自分で最後どうしたいか決めてもらう事を推進していこうと。西濃全体でもこれから進めていこうという事で、今や</p>
--	--

	<p>ている最中です。 (事務局)</p> <p>前回の産婦人科の逆紹介率が昨年より減少している理由はなぜですかとご質問をいただきました。担当科に確認しましたら、先生の入れ替わりのタイミングの関係とか送れる患者が少なかった。一応外に出す努力はしていますとの事でした。</p> <p>また、この委員会は来年度4月から審議会の見直しに伴って大垣市附属機関設置条例に一括条例化すると聞いておりますのでご報告します。</p>
次回開催	令和7年度第1回委員会は令和7年5月に開催予定とする。

